学校番号	120

令和3年度　　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	2	年次	3年次
使用教科書	「精選古典B　新版」（東京書籍）						
副教材等	①「マスター古文１」（京都書房）　②「日本文学史ノート」（京都書房） ③「Look@古文単語３３７」（京都書房）　④「新訂　国語図説　四訂版」（京都書房） ⑤「解析古典文法　三訂版」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、２年までに学習した古典の知識を活かして、自分の力で古文の物語や随筆、和歌、さらに漢文・漢詩といった様々な種類の文章を読み進めていきます。その中で、伝統的な美意識・美学を理解し、広い基礎教養を身に着けてほしいと思います。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察（授業や課題への取り組み） ・記述の点検（ノート、ワークシート等）			・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	説話2	『十訓抄』 『宇治拾遺物語』 『発心集』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	日記2	『紫式部日記』 『和泉式部日記』 『十六夜日記』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
2	物語3	『源氏物語』	○			○	◎	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	物語4	『落窪物語』 『堤中納言物語』 『夜の寝覚』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	評論2	『無名草子』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

3	詩3	「李白と杜甫」						e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	
			○			◎	○	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。